

より賢く よりかっこよく ～「安心」と「わくわく」～

豊川市立東部中学校
2年 学年通信
N o. 11
令和7年11月26日

歌声に感じた2年生の成長

先日の合唱コンクールでは、2年生らしい力強さとまとまりのある歌声が体育館に響き渡りました。1年生の頃と比べても、声の出し方やハーモニーの響きがぐっと豊かになり、どのクラスも自信に満ちた表情でステージに立っていました。全体の声量も増し、一人一人の成長を感じることができました。また、どのクラスでも、毎日の練習に一生懸命取り組む姿が見られました。指揮者や伴奏者、パートリーダーを中心に話し合いながら、よりよい歌をつくろうと努力する中で、自然と心が一つにまとまっていたように思います。本番で響いた歌声には、その積み重ねがしっかりと表っていました。こうした姿を見ていると、3年生になった皆さんがどんな歌声を聴かせてくれるのか、今からとても楽しみです。そして、卒業式では、それまでの歩みを感じさせる、凛とした美しい歌声が響くことを期待しています。

2学期は、スポーツ大会や合唱コンクールなど、みんなで力を合わせる行事がたくさんありました。こうした行事には、勝ち負け以上に、成功や失敗を含めたさまざまな経験を通して「よいチームの作り方」を学ぶ意味があります。その学びはまだまだ続いていきます。昨年度の学年通信では、「合唱から学ぶ学級のハーモニー」と題して、仲間との調和の大切さをお伝えしました。学級は、性格や考え方の異なる仲間の集まりです。その集団が統一感をもち、個々の強みをバランスよく組み合わせて調和をとることで、全員にとって居心地のよい学級になっていきます。そして、1+1が3や4になるような相乗効果が生まれます。今回の行事で身につけた協力する力や支え合う姿勢を、これからの中学校生活でも大切にし、よりよいチームを作ていきましょう。

写 真